

1 事業概要

事務事業名 ながの子育て家庭優待パスポート事業		課名	子育て支援課	事業No.	123	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H27	終了	H31	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			子育て応援プラン		
法令・例規等						
事業目的	対象	子育て中の家庭				
	意図	協賛店舗を利用して優待サービスを受ける				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	18歳未満の子どもがいる世帯が市内の協賛店舗において「ながの子育て家庭優待パスポート」を提示していただくと、割引等の各種サービスが受けられる取り組みを引き続き実施しました。また平成29年度を以って有効期限となる多子世帯（子どもが3人以上いる世帯）プレミアムパスポートを対象世帯に再交付したことにより、パスポート事業について再認識していただけることができました。 多くの世帯に活用してもらえるよう、協賛店舗やサービス内容が掲載されているチラシを保育所、小学校中学校のほか新たに高等学校にも配布しました。		印刷広告宣伝費					515	
			対象世帯抽出作業委託料					389	
			その他の経費					135	
			指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
			協賛店舗数	店舗	223	236			
			29年度 決算 (千円)		予算額	1,388	特定財源内訳及び補足事項		
			財源の 状況	決算額	1,039				
				国庫支出金	0				
				県支出金	0				
地方債	0								
その他	0								
	一般財源	1,039							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	8	11	10	1,388	1,039	子育て家庭優待パスポート事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		通常パスポートのほか、多子世帯（子どもが3人以上いる世帯）に交付しているプレミアムパスポートに関する問合せも多く認識が高まってきています。しかしながら、プレミアムカードのサービス提供店舗は市内45店舗と少ないため、メリットをあまり強く感じられないことが課題になっています。							
上記の課題解決のための有効策		協賛店舗を扱う商業・市街地活性課と連携し、サービス提供店舗（通常、プレミアム）を拡充させる必要があります。また新聞広告にパスポート事業について特集記事を掲載する際には、利用者のほか未加入の店舗向けに対しても協賛店加入を促すように発信をすることが必要と考えます。							
次年度に向けての取り組み		利用者と店舗経営者の両者にもわかりやすい内容でチラシを作成するよう協議検討します。 通常パスポート及びプレミアムパスポートは申請書が別様式になっているため、これを一枚の用紙に統一することで2種類のカードが存在することを明確化するほか、申請書の記入間違いを防止するように取り組みます。							